



奈良県経済の概況

新型コロナウイルス感染症等による厳しい状況が残る中で、持ち直しに足踏みがみられる。

個人消費 百貨店・スーパー販売額は前年同月比 10 か月連続の減少

住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比 2 か月連続の減少

公共投資 公共工事請負金額は前年同月比 4 か月ぶりの増加

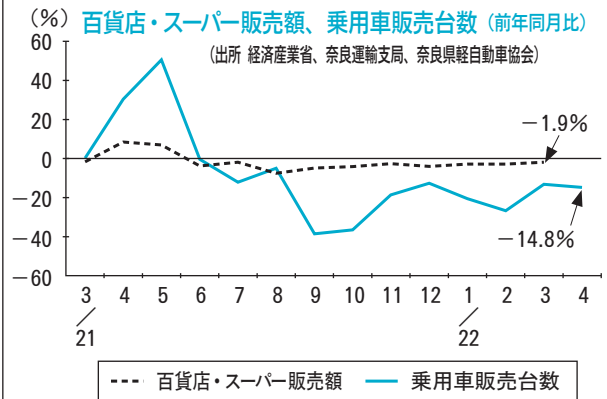
雇用情勢 有効求人倍率は前月比 0.03 ポイント上昇の 1.23 倍

企業倒産 倒産件数は 2 か月ぶりの一桁台

生産活動 鉱工業生産指数は前月比 2 か月ぶりの上昇

1 個人消費

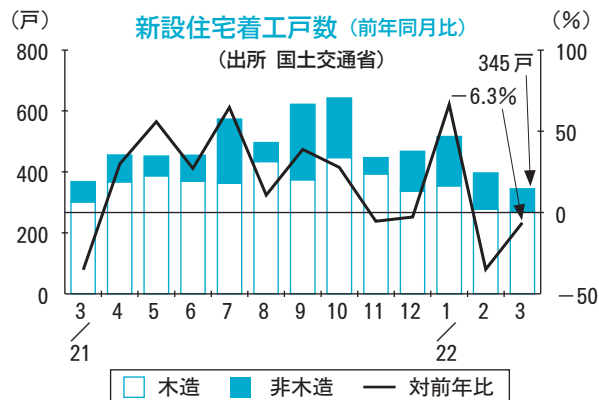
百貨店・スーパー販売額は前年同月比 10 か月連続の減少



- 3月の百貨店・スーパー販売額（速報値、全店ベース）は前年同月比 1.9%減の 167 億 32 百万円となり、10 か月連続の減少。2020 年同月比は、3.7%減。
- 4月の乗用車販売台数は前年同月比 14.8%減の 2,718 台と、11 か月連続の減少。普通乗用車は同 8.9%減、小型乗用車は同 16.4%減。軽乗用車は同 18.8%減となった。2020 年同月比は、11.1%増。

2 住宅着工

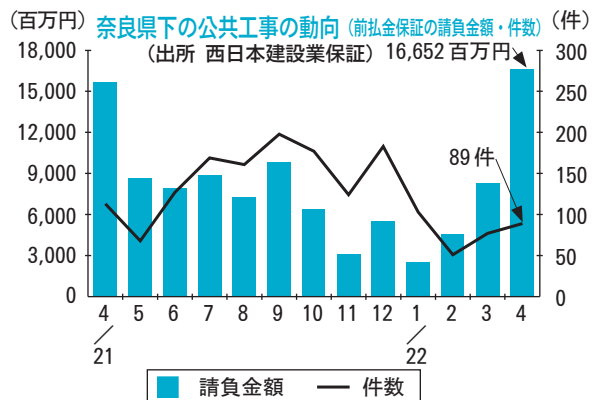
新設住宅着工戸数は前年同月比 2 か月連続の減少



- 3月の新設住宅着工戸数は前年同月比 6.3%減の 345 戸と、2 か月連続の減少。2020 年同月比は、39.4%減。
- 利用関係別にみると、持家は同 8.5%減の 172 戸と 2 か月連続の減少、貸家は前年同月と同じ 73 戸、分譲住宅は同 6.5%減の 100 戸と 2 か月連続の減少となった。

3 公共投資

(西日本建設業保証の保証取り扱い)
公共工事請負金額は前年同月比 4 か月ぶりの増加

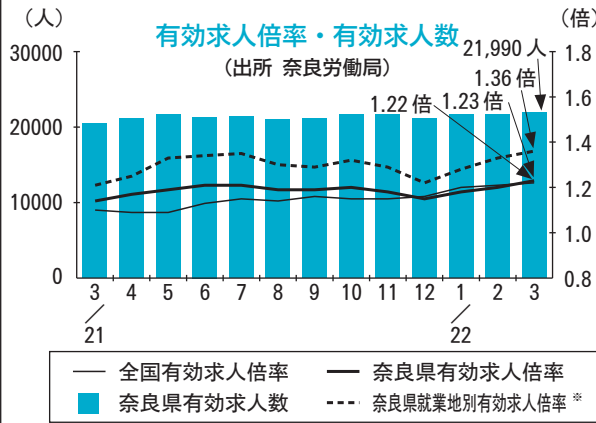


- 4月の公共工事請負金額の動向をみると、件数は前年同月比 21.2%減の 89 件となり、8 か月連続の減少。金額は同 6.1%増の 166 億 52 百万円と、4 か月ぶりの増加。
- 発注者別にみると、国は同 18.9%減、県は同 34.9%減、市町村は同 40.0%減。

4

雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.03 ポイント上昇の 1.23 倍



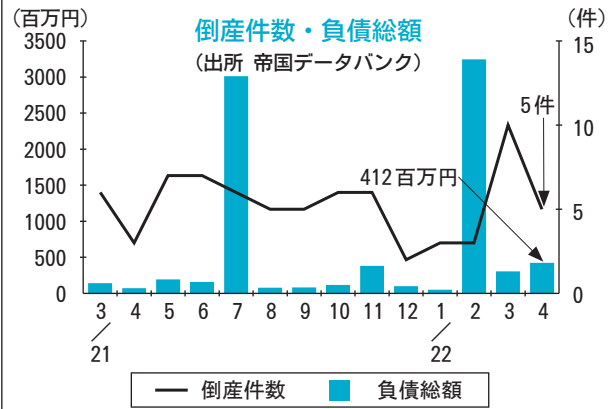
*実際の就業地が奈良県内の求人の倍率

- 3月の有効求人倍率（季調値）は前月比 0.03 ポイント上昇の 1.23 倍となり 3 か月連続の上昇。前年同月比は 0.09 ポイント上昇。
- 新規求人倍率（季調値）は、前月比 0.19 ポイント上昇の 2.15 倍となり 2 か月ぶりの上昇。前年同月比は 0.11 ポイント上昇。

5

企業倒産

倒産件数は 2 か月ぶりの一桁台

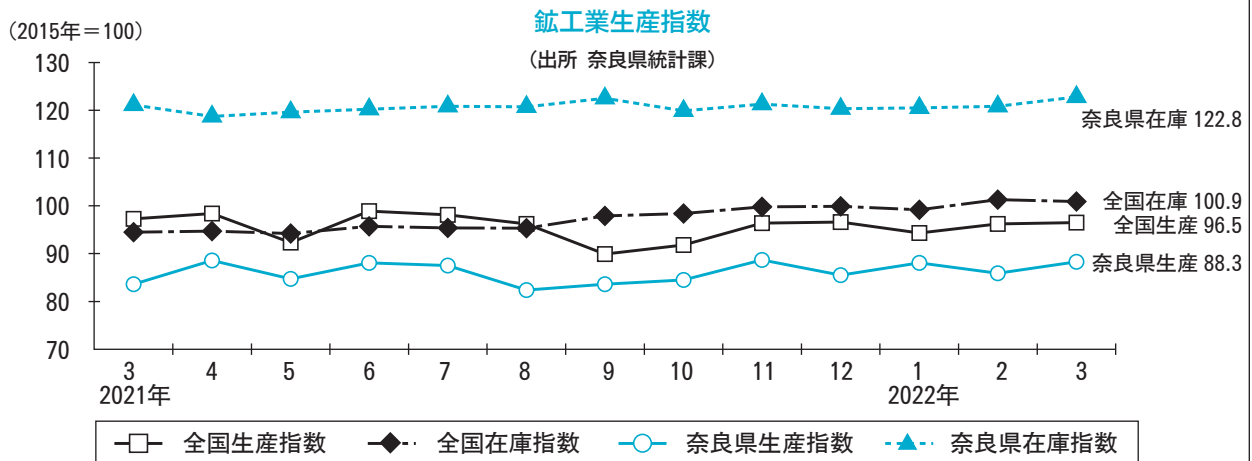


- 4月の倒産状況をみると、件数は前年同月比 66.7%増の 5 件となり、2 か月ぶりの一桁台。負債総額は同 586.7%増の 4 億 12 百万円と 3 か月連続の増加。
- 業種別では、小売業が 2 件、建設業、卸売業、その他が各 1 件。倒産形態では、5 件すべてが自己破産であった。
- 新型コロナウイルス関連の倒産件数は 5 月 19 日現在で累計 21 件である。

6

生産活動

鉱工業生産指数は前月比 2 か月ぶりの上昇



- 3月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比 2.8%上昇の 88.3 となり 2 か月ぶりの上昇。原指数は前年同月比 3.7%上昇の 98.0 となり 5 か月連続の上昇。在庫指数は前月比 1.7%上昇の 122.8 となり 3 か月連続の上昇。
- 業種別生産指数の動きは、電気機械工業、金属製品工業、化学工業等の 9 業種が前月比上昇となる一方、輸送機械工業、食料品・たばこ工業、生産用機械工業等の 8 業種が同低下。
(2022年3月公表時に年間補正を実施。)